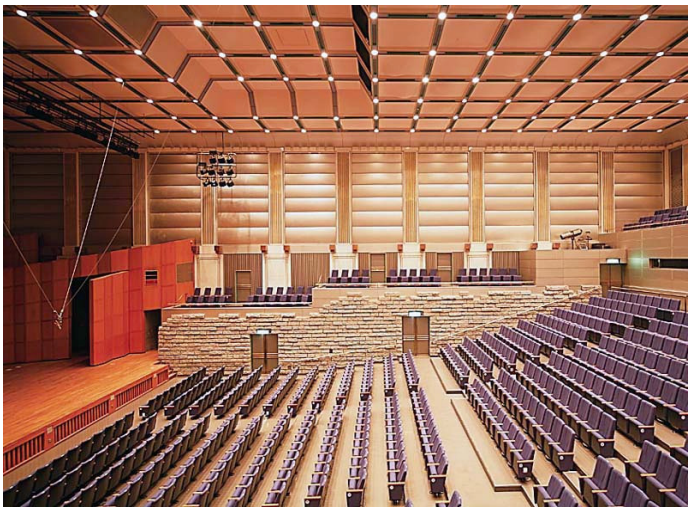


ホール内観



つくばセンタービル内にある、国内有数の音響設備を誇る劇場。建築家 磯崎新氏の設計によるポストモダンの代表建築である。客席は全面交換されている。

入口



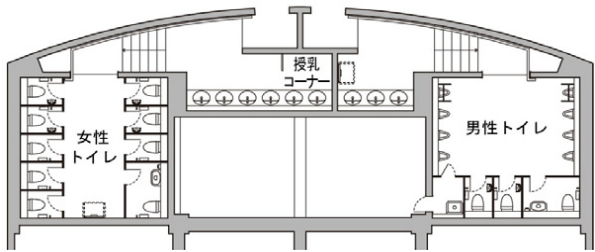
ユニバーサルデザインに配慮して、筑波技術大学のアドバイスを受けながら新しいサイン計画も実施した。

小便器・大便器コーナー

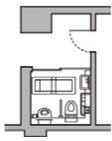


建物のコンセプトに合わせ、空間全体の色彩を統一。大便器・小便器はRESTROOM ITEM 01を採用。左奥の大便器ブースはオストメイトの方々に配慮したブースとなっている。

トイレ図面



多目的トイレ



洗面器コーナー



男女トイレとも、大理石のカウンタートップはオリジナルデザインを活用し、洗面器と水栓金具だけを交換した。明るい仕上げ材と照明器具を増設している。

簡易多機能ブース



男女トイレに設けられた簡易多機能ブース。汚物流しを設置し、オストメイトの方々の利用に対応。

小便器コーナー



マイクロ波センサーを搭載したRESTROOM ITEM 01の壁掛式の小便器を採用。床の清掃は湿式から乾式へ変更された。

大便器コーナー



RESTROOM ITEM 01のシンプルな壁掛式の大便器が採用された。利用傾向から判断し、すべてを腰掛式便器とした。

大便器コーナー



RESTROOM ITEM 01のアクセサリーの表面仕上げと合わせて、アルミヘアラインのパーティション・フレームを採用。建築全体の色彩が統一されている。

多目的トイレ



RESTROOM ITEM 01の多目的トイレを採用。従来と比べ、オストメイト対応流しや折りたたみシートが増設された。

建築概要

名 称	ノバホール
所 在 地	茨城県つくば市吾妻1-10-1
施 主	つくば市
設計監理	株式会社若柳建築事務所
建築施工	昭和建設株式会社
設備施工	清和工業株式会社
改修箇所	1F男女トイレ・2F多目的トイレ
竣工年月	(改修) 2008年8月10日～9月12日
建築規模	地上3階
築年数	築後25年 (1983年竣工)

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
建築家 磯崎新氏の設計によるポストモダンの代表建築である建物。築25年が経過し、今回大規模改修が行われた。内容は全客席の交換・トイレ全面改修・新しいサイン計画。特にユニバーサルデザインに配慮しつつ、建築史に残る建物のトイレはどのようなデザインであるべきかが検討された。
＜トイレの特長＞
プロダクトとしての高いクオリティや、時代を越えて使われるロングライフなデザイン性に着目しRESTROOM ITEM 01が採用された。オリジナルデザインの大理石の洗面カウンターを残しつつ、ブース材や床材などの色合いは全体のコンセプトに合わせられている。またこの建物が公共施設であることから、特にユニバーサルデザインには重点を置いている。筑波技術大学のアドバイスを受けながら、新しいサイン計画も実施した。